

令和6年度横須賀市介護事業所アンケート調査

■ 調査の目的

市内の介護事業所の現状を把握し、全国的な課題である介護人材不足を解消するための一環として行う介護人材確保対策事業について、今後の展開を検討するための基礎資料とします。

■ 調査の対象

横須賀市内の介護サービス事業所(※)及びそこで働く介護職員

※介護職員(直接介護を行う職員)がいる事業所を対象とする

■ 実施期間

令和6年11月29日～令和7年1月17日

■ 回答方法

調査票をメールで提出(事業所)

e-kanagawaでWEB回答(介護職員)

■ 有効回答数

事業所数:74事業所(回答率16.7%) 介護職員数:1,354人

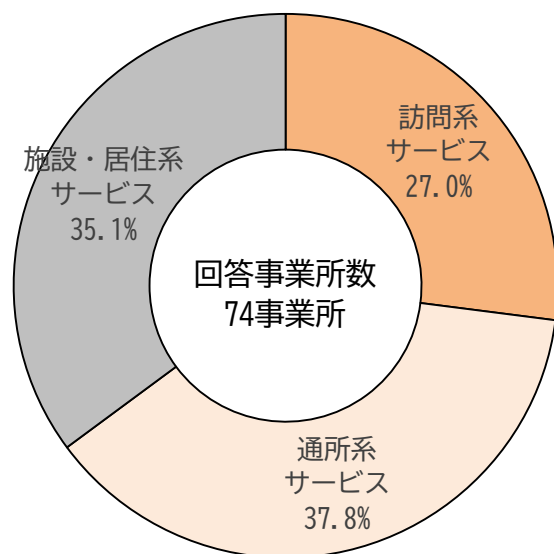


調査結果（事業所票）

※回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

1. 事業所概要

■ 事業所のサービス種別割合



※右の分類には、回答数が0のサービス種も含む

訪問系サービス

訪問介護、訪問入浴介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

通所系サービス

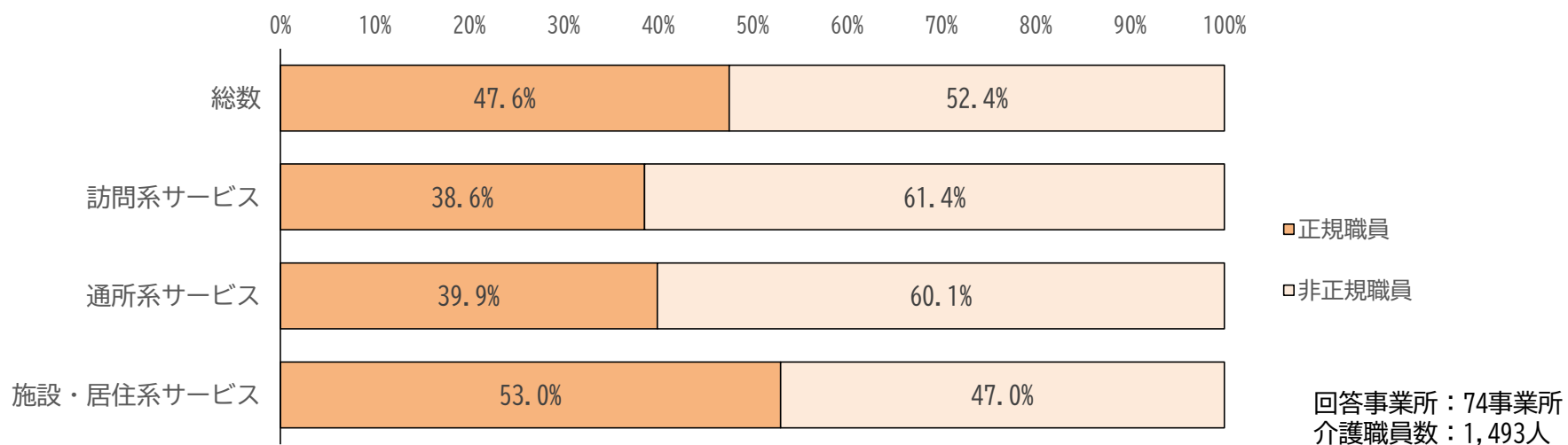
通所介護、地域密着型通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、第1号通所事業(単独型)

施設・居住系サービス

短期入所生活介護、短期入所療養介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、特定施設入所者生活介護、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設

Ⅰ．事業所概要

■ 介護職員の総数



- ※ ここでの「介護職員」とは、直接介護を行う職員を指し、訪問介護員も含みます。資格の有無に限らず、現在主に直接介護を行っている職員が対象です。また、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません)
- ※ 「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは、期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。なお、直接雇用でない職員(派遣職員など)等は含みません。

2. 介護職員について

■ 介護職員数の変化

サービス系統 (該当事業所数)	介護職員総数（人）			採用者数（人）			離職者数（人）			昨年比（％）		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス (71事業所)	710	783	1,493	71	135	206	57	108	165	102.0	103.6	102.8
訪問系 (19事業所)	135	215	350	15	25	40	5	27	32	108.0	99.1	102.3
通所系 (27事業所)	93	140	233	13	27	40	7	20	27	106.9	105.3	105.9
施設・居住系 (25事業所)	482	428	910	43	83	126	45	61	106	99.6	105.4	102.2

※ 「介護職員について」は、開設から1年以上経過している事業所のみを集計の対象としています。

※ ここでの「介護職員」とは、直接介護を行う職員を指し、訪問介護員も含みます。資格の有無に限らず、現在主に直接介護を行っている職員が対象です。また、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません)

※ 「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは、期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。なお、直接雇用でない職員(派遣職員など)等は含みません。

2. 介護職員について

■ 年齢・雇用形態別の過去1年間※の採用者

※ 令和5年10月1日～令和6年9月30日まで

採用者 (割合)	全サービス (71事業所)		訪問系(19事業所)		通所系(27事業所)		施設・居住系(25事業所)	
	正規職員(71人)	非正規職員(135人)	正規職員(15人)	非正規職員(25人)	正規職員(13人)	非正規職員(27人)	正規職員(43人)	非正規職員(83人)
20歳未満	1.4%	1.5%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
20～29歳	15.5%	13.3%	0.0%	0.0%	30.8%	18.5%	16.3%	15.7%
30～39歳	14.1%	11.1%	13.3%	4.0%	0.0%	7.4%	18.6%	14.5%
40～49歳	18.3%	22.2%	0.0%	16.0%	15.4%	29.6%	25.6%	21.7%
50～59歳	31.0%	25.9%	26.7%	36.0%	38.5%	25.9%	30.2%	22.9%
60～69歳	18.3%	15.6%	53.3%	20.0%	15.4%	18.5%	7.0%	13.3%
70～79歳	1.4%	10.4%	0.0%	24.0%	0.0%	0.0%	2.3%	9.6%
80歳以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2. 介護職員について

■ 年齢・雇用形態別の過去1年間※の離職者

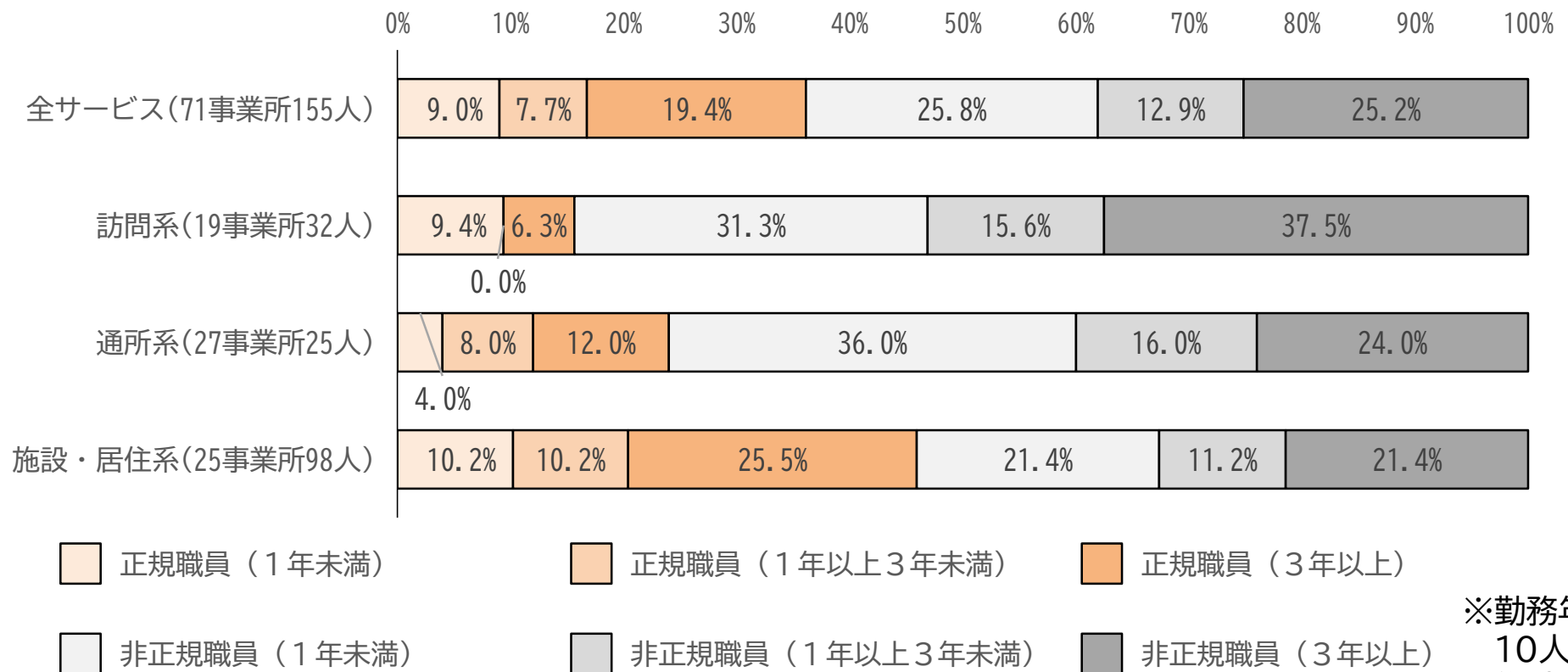
※ 令和5年10月1日～令和6年9月30日まで

離職者 (割合)	全サービス (71事業所)		訪問系(19事業所)		通所系(27事業所)		施設・居住系(25事業所)	
	正規職員(57人)	非正規職員(108人)	正規職員(5人)	非正規職員(27人)	正規職員(7人)	非正規職員(20人)	正規職員(45人)	非正規職員(61人)
20歳未満	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
20～29歳	 12.3%	 9.3%	0.0%	0.0%	 14.3%	 10.0%	 13.3%	 13.1%
30～39歳	 17.5%	 13.9%	 20.0%	 14.8%	0.0%	 10.0%	 20.0%	 14.8%
40～49歳	 35.1%	 15.7%	 60.0%	 7.4%	 42.9%	 25.0%	 31.1%	 16.4%
50～59歳	 26.3%	 20.4%	 20.0%	 22.2%	 42.9%	 25.0%	 24.4%	 18.0%
60～69歳	 5.3%	 22.2%	0.0%	 37.0%	0.0%	 25.0%	 6.7%	 14.8%
70～79歳	 3.5%	 16.7%	0.0%	 18.5%	0.0%	 5.0%	 4.4%	 19.7%
80歳以上	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%

2. 介護職員について

■ 勤務年数別の過去1年間※の離職者

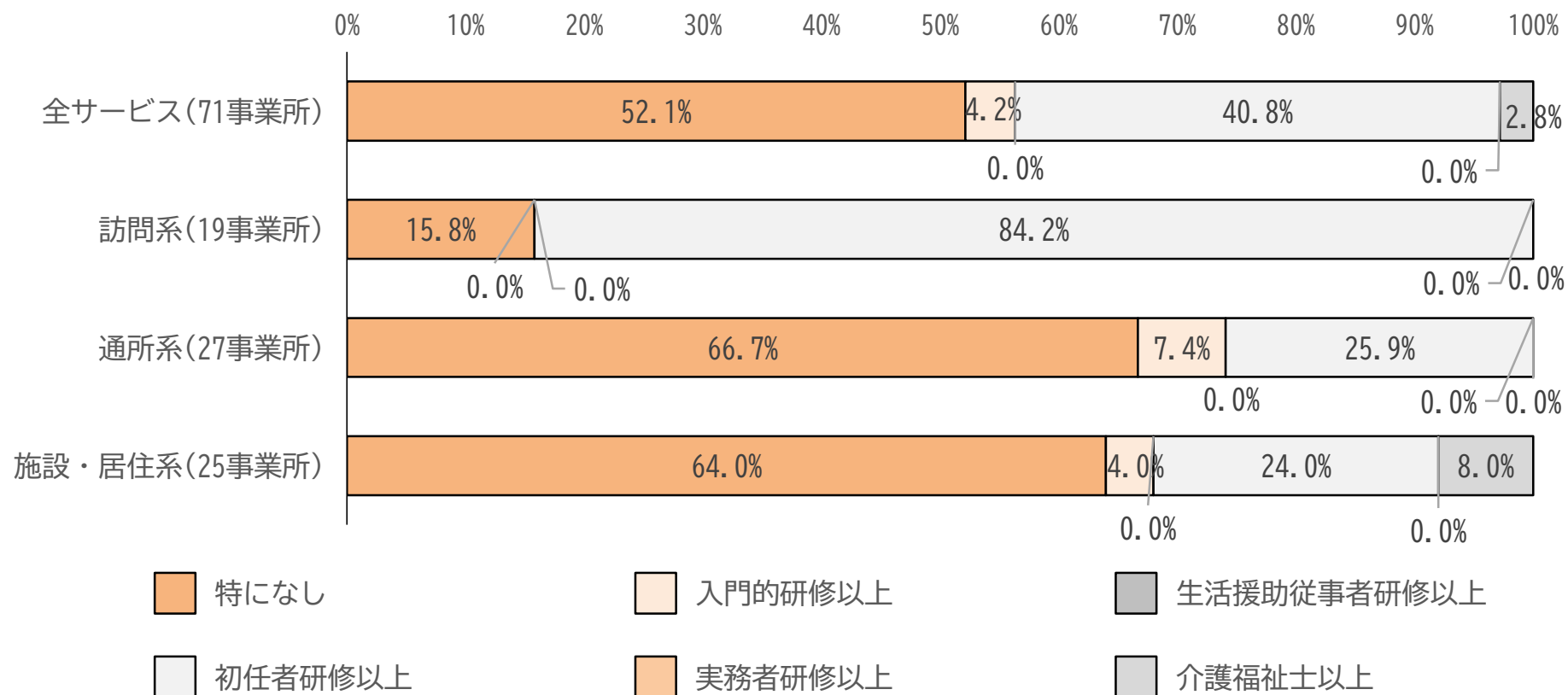
※ 令和5年10月1日～令和6年9月30日まで



※勤務年数不明者
10人を除いて
集計

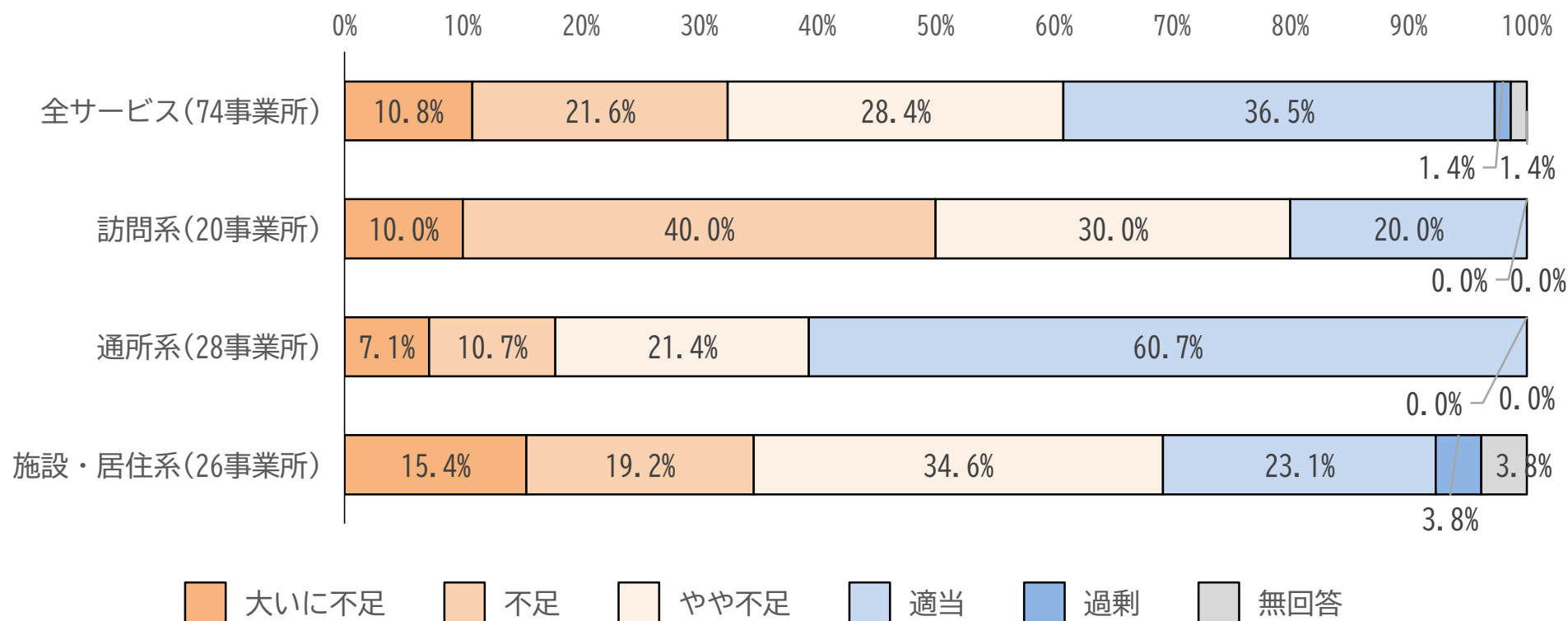
2. 介護職員について

■ 介護職員を採用するにあたり、求める資格等



3. 事業所における介護職員の過不足について

■ 介護職員の過不足状況



3. 事業所における介護職員の過不足について

■ 介護職員が不足している理由(複数回答可)

	全サービス (45事業所)	訪問系 (16事業所)	通所系 (11事業所)	施設・居住系 (18事業所)
採用が困難（募集しても人が集まらない等）	 91.1%	 87.5%	 81.8%	 100.0%
離職率が高い（辞めてしまう人が多い）	 17.8%	 25.0%	 9.1%	 16.7%
事業を拡大して人が足りない	 4.4%	 0.0%	 18.2%	 0.0%
その他	 13.3%	 25.0%	 18.2%	 0.0%

3. 事業所における介護職員の過不足について

■ 介護職員の採用が困難な理由(複数回答可)

	全サービス (41事業所)	訪問系 (14事業所)	通所系 (9事業所)	施設・居住系 (18事業所)
他業種に比べ賃金水準が低い	53.7%	50.0%	66.7%	50.0%
資格や技術を持った人材が地域に不足している	41.5%	35.7%	33.3%	50.0%
同業他社との人材獲得競争が厳しい	65.9%	42.9%	66.7%	83.3%
仕事がきつい(身体的・精神的)というイメージがある	61.0%	50.0%	55.6%	72.2%
雇用が不安定というイメージがある	24.4%	42.9%	22.2%	11.1%
社会的評価が低いというイメージがある	51.2%	50.0%	66.7%	44.4%
その他	24.4%	21.4%	11.1%	33.3%

その他の内容

- ・交通の便が悪い
- ・介護の中でも選ばれにくい職種がある
- ・経営が厳しい

など

3. 事業所における介護職員の過不足について

■ 介護職員の離職率が高い理由(離職の原因)(複数回答可)

	全サービス (8事業所)	訪問系 (4事業所)	通所系 (1事業所)	施設・居住系 (3事業所)
勤務時間が長い	 37.5%	 75.0%	0.0%	0.0%
休暇が取りにくい	 50.0%	 75.0%	0.0%	 33.3%
仕事がきつい(身体的・精神的)	 75.0%	 50.0%	100.0%	100.0%
賃金が低い(業務量と見合わない)	 50.0%	 50.0%	0.0%	 66.7%
キャリアアップの機会が不十分	 12.5%	 25.0%	0.0%	0.0%
社会的評価が低いと感じる	 37.5%	 50.0%	0.0%	 33.3%
職場の人間関係	 37.5%	 25.0%	0.0%	 66.7%
利用者やその家族との人間関係	 37.5%	 25.0%	0.0%	 66.7%
身内のケア(介護・看護・育児等)	 37.5%	 50.0%	0.0%	 33.3%
定年や高齢になったため	 75.0%	 50.0%	100.0%	100.0%
その他	 12.5%	0.0%	100.0%	0.0%

その他の内容

・思っていたより仕事内容がハード

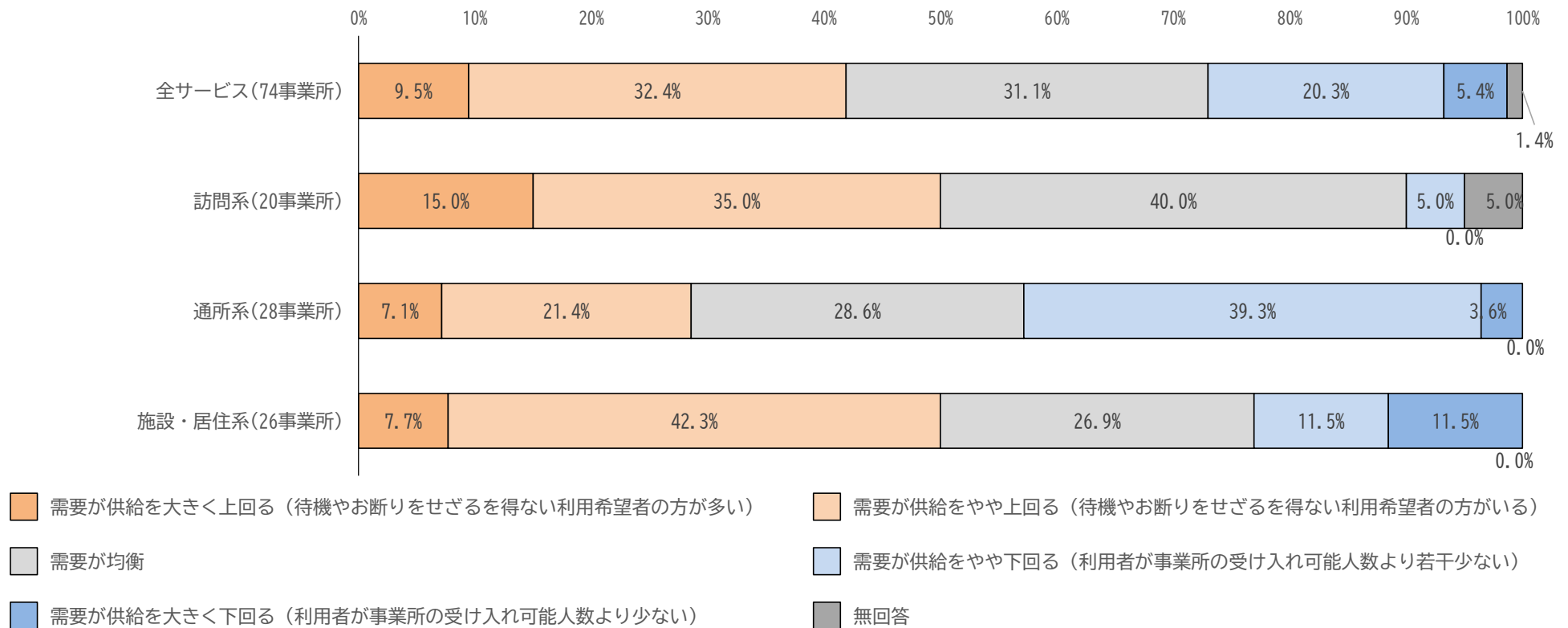
など

4. 介護人材不足克服のための方策について

■ 事業所として優先度の高い方策(3つまで回答)

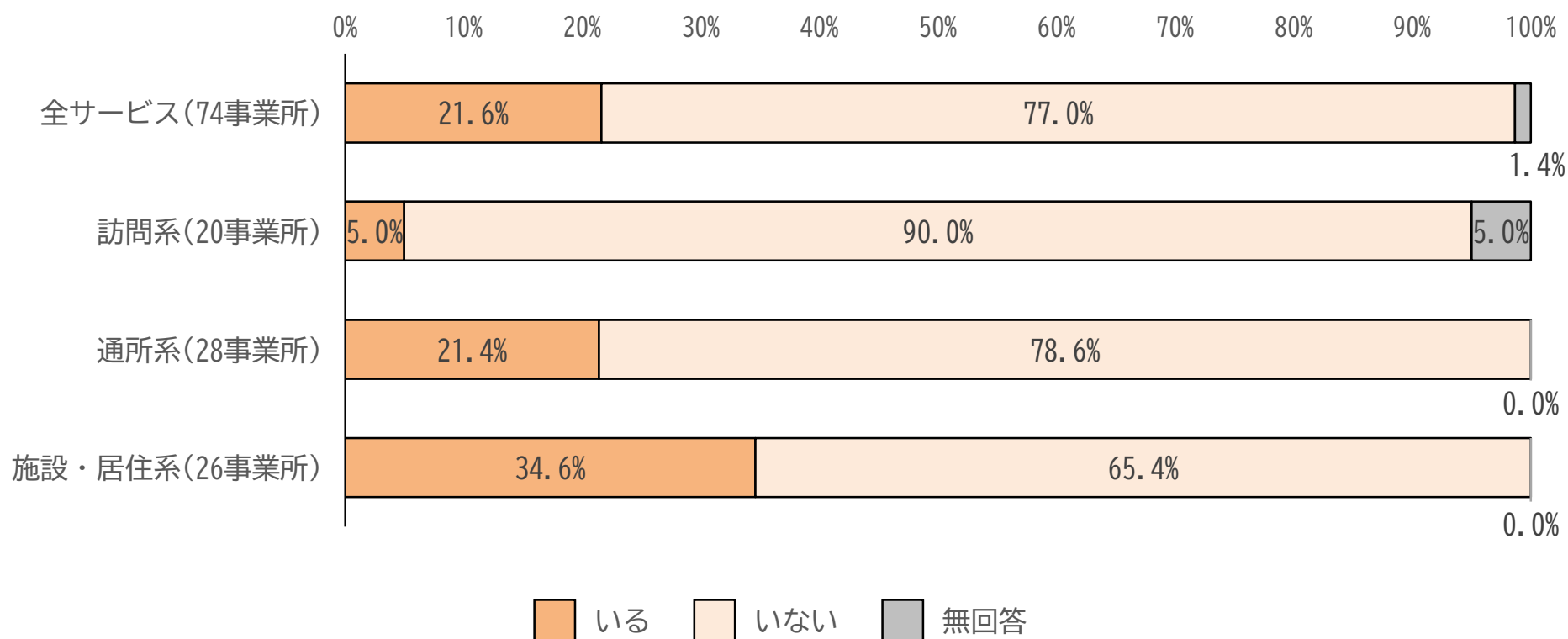
	全サービス (74事業所)	訪問系 (20事業所)	通所系 (28事業所)	施設・居住系 (26事業所)
職員の離職防止・定着促進	54.1%	35.0%	64.3%	57.7%
若手職員の新規採用	54.1%	55.0%	42.9%	65.4%
高齢者（アクティブシニア層）の活用	27.0%	25.0%	10.7%	46.2%
介助助手や未経験者の活用	23.0%	10.0%	35.7%	19.2%
外国人労働者の活用	16.2%	15.0%	21.4%	11.5%
介護業界のイメージアップ	32.4%	45.0%	32.1%	23.1%
若い世代への介護の仕事のPR	20.3%	30.0%	14.3%	19.2%
介護ロボットやICTの導入による職員の負担軽減	17.6%	20.0%	7.1%	26.9%
業務の効率化や生産性向上	36.5%	35.0%	42.9%	30.8%

5. 需要と供給について



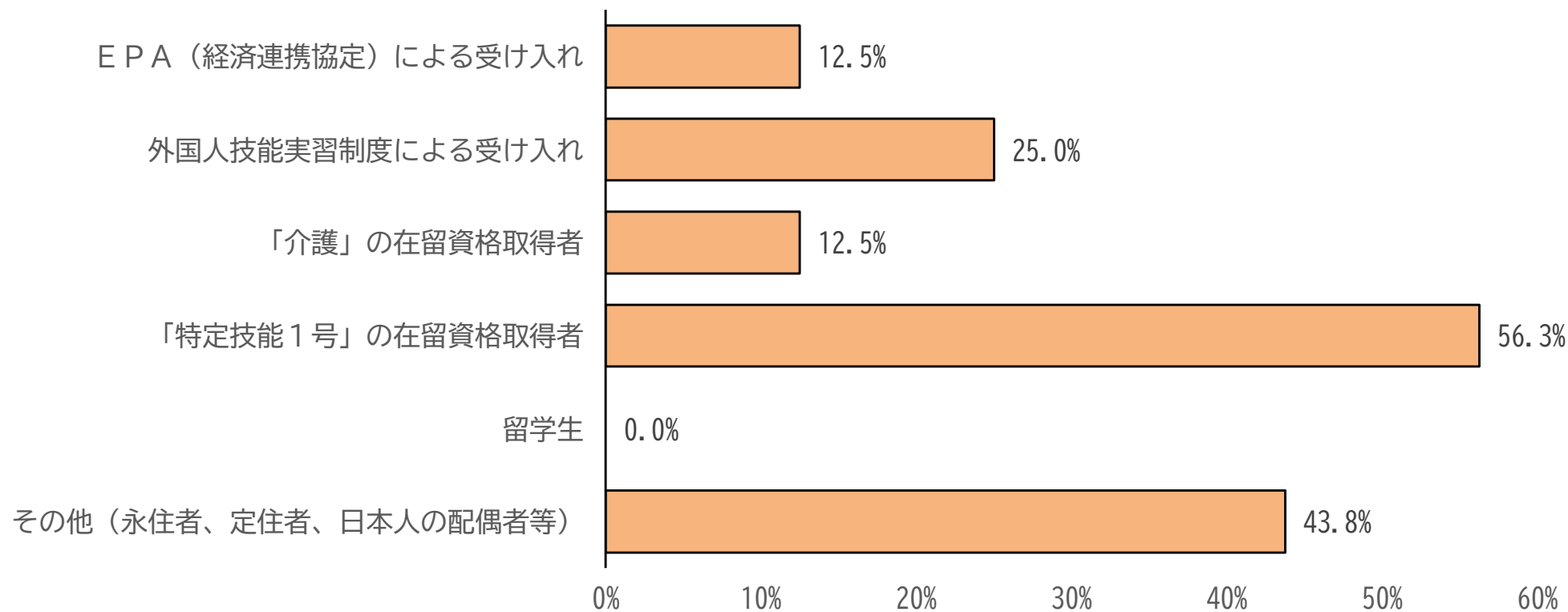
6. 外国人人材の雇用について

■ 介護の仕事に従事する外国人はいるか(令和6年10月1日現在)



6. 外国人人材の雇用について

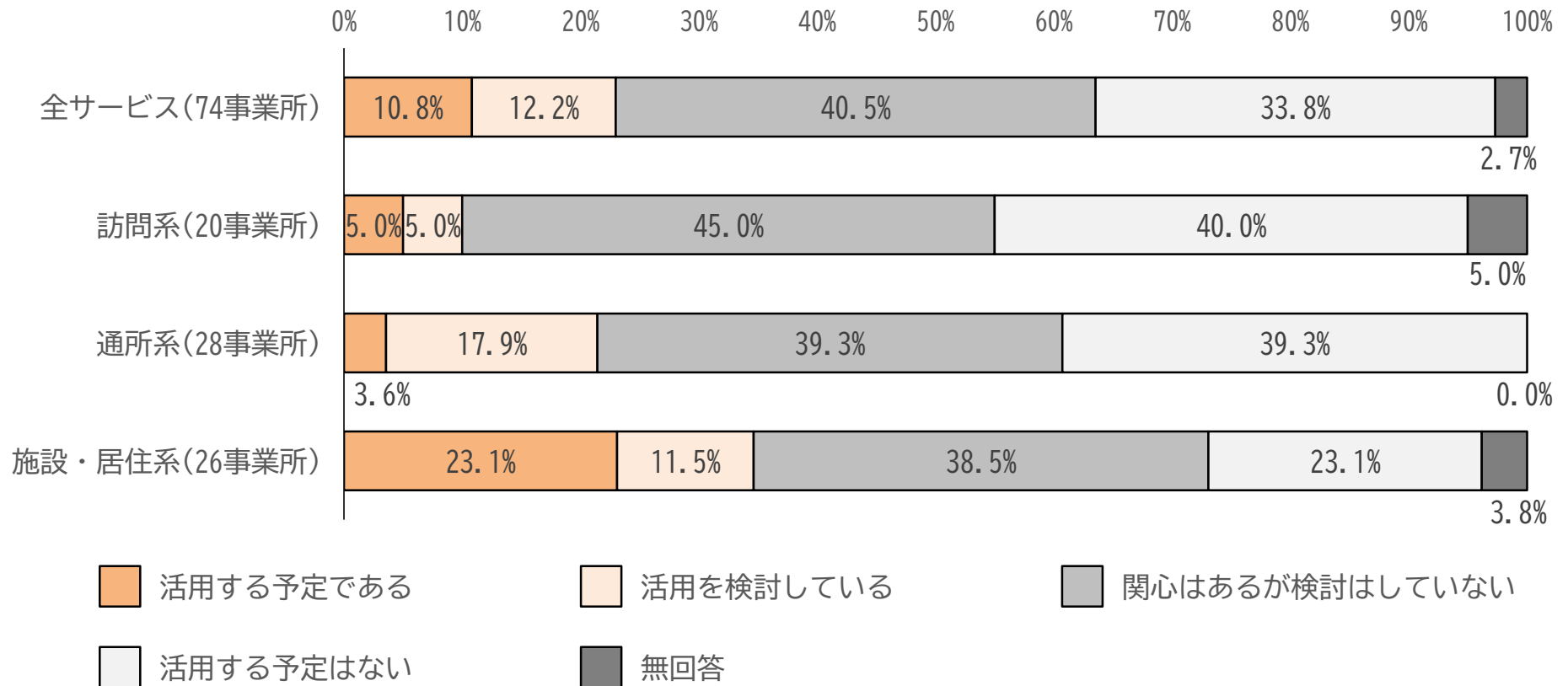
■ 外国人従業員の「受け入れの形態」はどれですか。(すべて回答)



回答事業所：16事業所

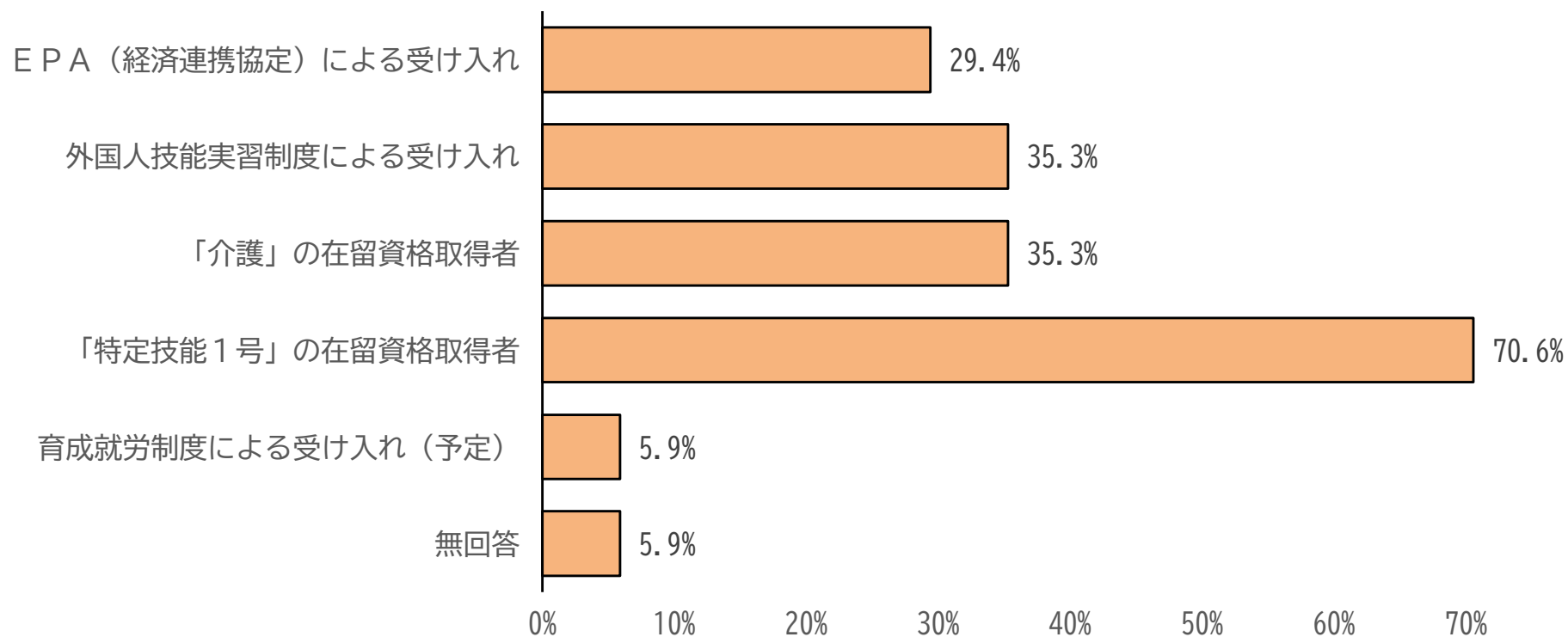
6. 外国人人材の雇用について

■ 今後、外国人人材の活用について、どのように考えるか



6. 外国人人材の雇用について

■ どのような形態での受け入れを考えているか(複数回答可)



回答事業所：17事業所

6. 外国人人材の雇用について

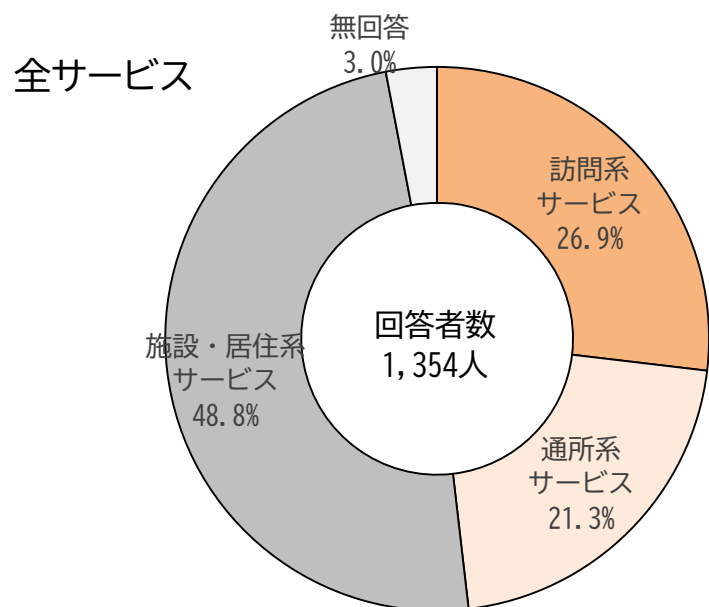
■ 外国人人材の活用についての課題

	全サービス (74事業所)	訪問系 (20事業所)	通所系 (28事業所)	施設・居住系 (26事業所)
職員との意思疎通が難しい	39.2%	35.0%	32.1%	50.0%
利用者・家族との意思疎通が難しい	52.7%	70.0%	39.3%	53.8%
介護記録等の書類作成に課題がある	63.5%	70.0%	50.0%	73.1%
文化や生活習慣等の違いから仕事に支障がある	31.1%	30.0%	21.4%	42.3%
日本語習得や専門技術にかかる研修費用の負担が大きい	32.4%	25.0%	21.4%	50.0%
OJT（職場内研修）を担当する職員の負担が大きい	32.4%	40.0%	21.4%	38.5%
住宅確保や福利厚生面などの費用負担がかかる	47.3%	30.0%	46.4%	61.5%
長期的な雇用の面で不安がある	50.0%	45.0%	42.9%	61.5%
様々な手続きがあるため、実際の採用までに時間がかかる	36.5%	25.0%	32.1%	50.0%
受け入れ制度が複雑で分かりにくい	40.5%	35.0%	46.4%	38.5%

調査結果（介護職員票）

※回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

1. 現在働いている事業所のサービス種類



※右の分類には、回答数が0のサービス種も含む

訪問系サービス

訪問介護、訪問入浴介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

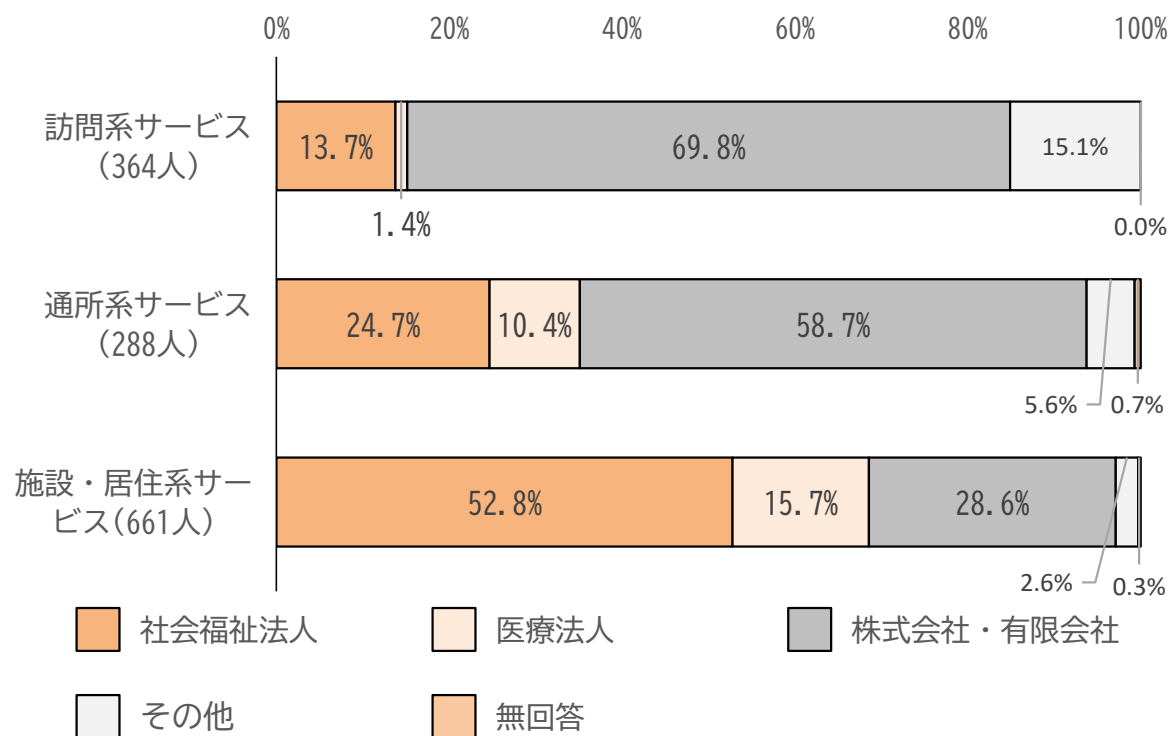
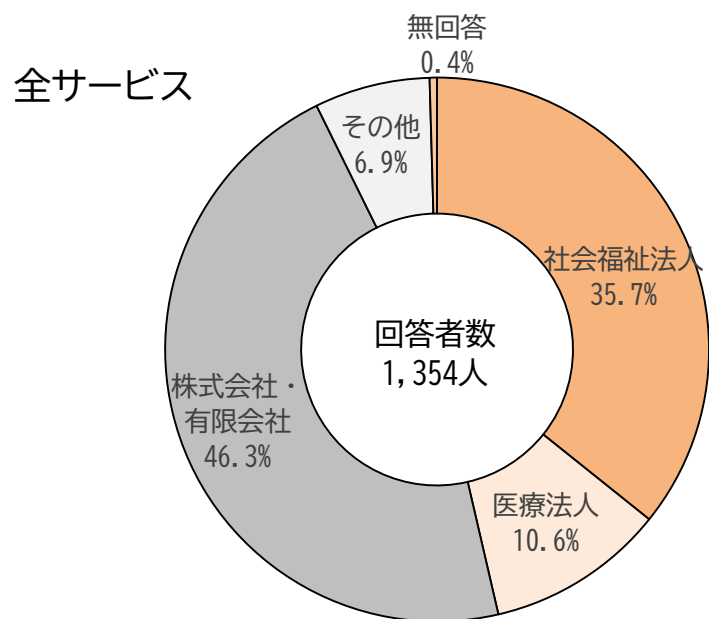
通所系サービス

通所介護、地域密着型通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、第1号通所事業(単独型)

施設・居住系サービス

短期入所生活介護、短期入所療養介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、特定施設入所者生活介護、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設

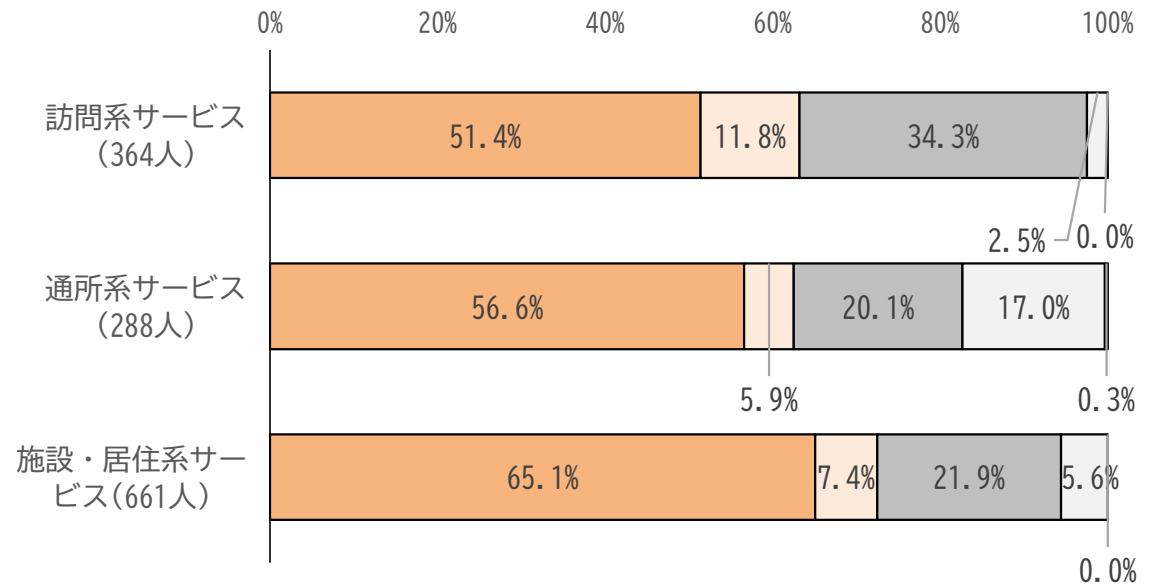
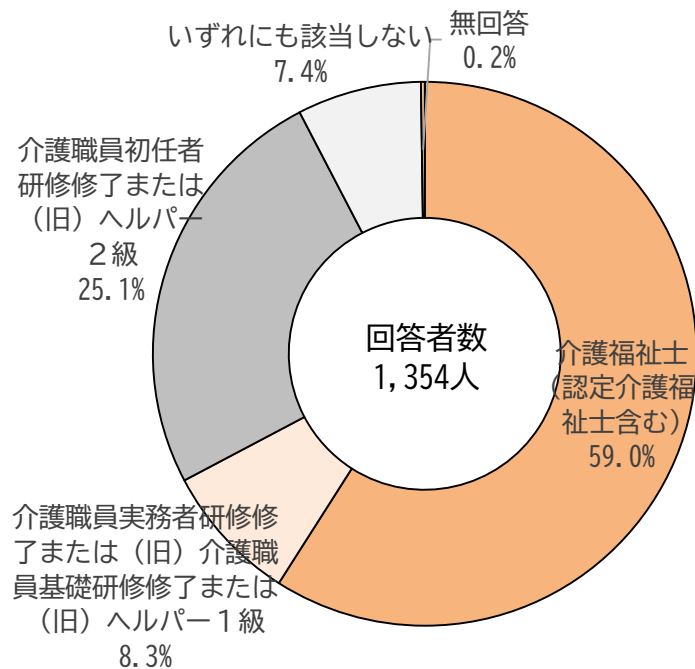
2. 現在働いている事業所の法人種別



※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

3. 取得している資格や修了している研修

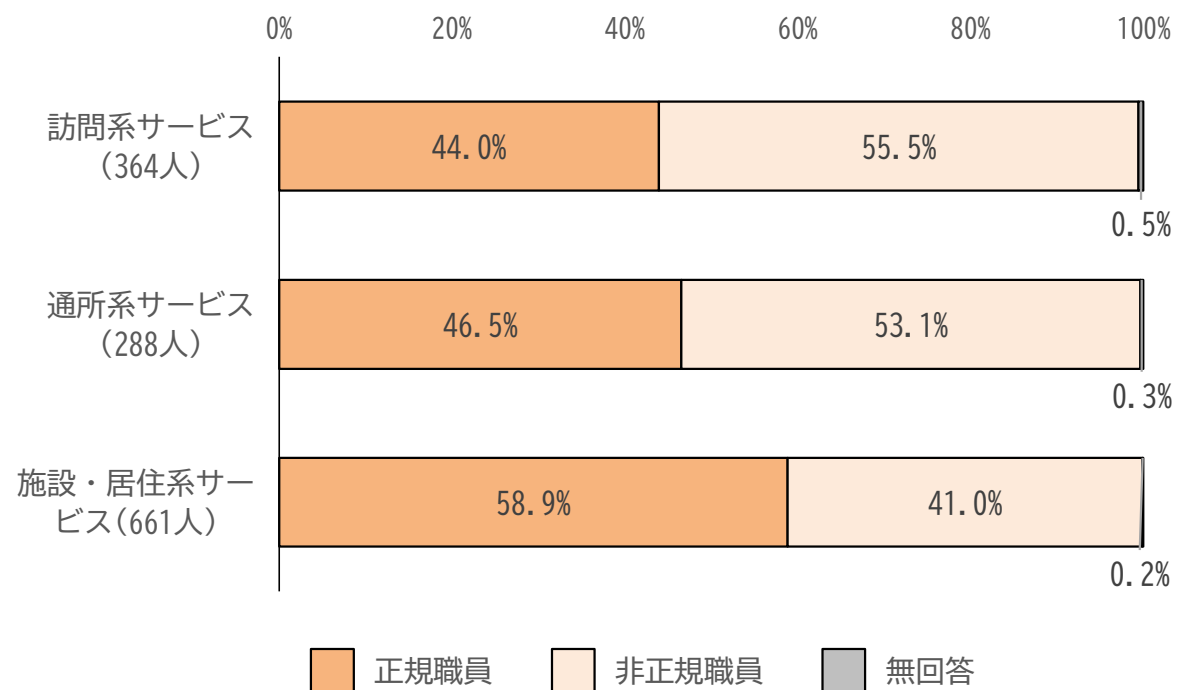
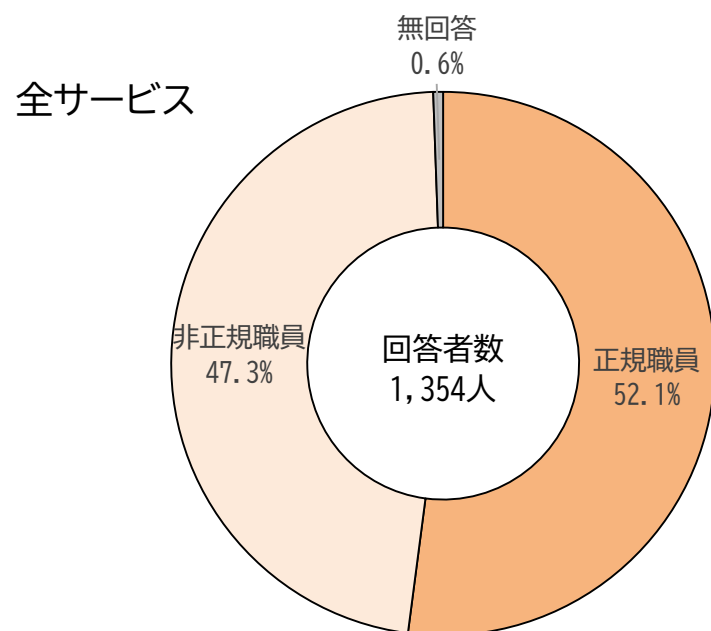
全サービス



- 介護福祉士(認定介護福祉士含む)
- 介護職員実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級
- 介護職員初任者研修修了または(旧)ヘルパー2級
- いずれにも該当しない
- 無回答

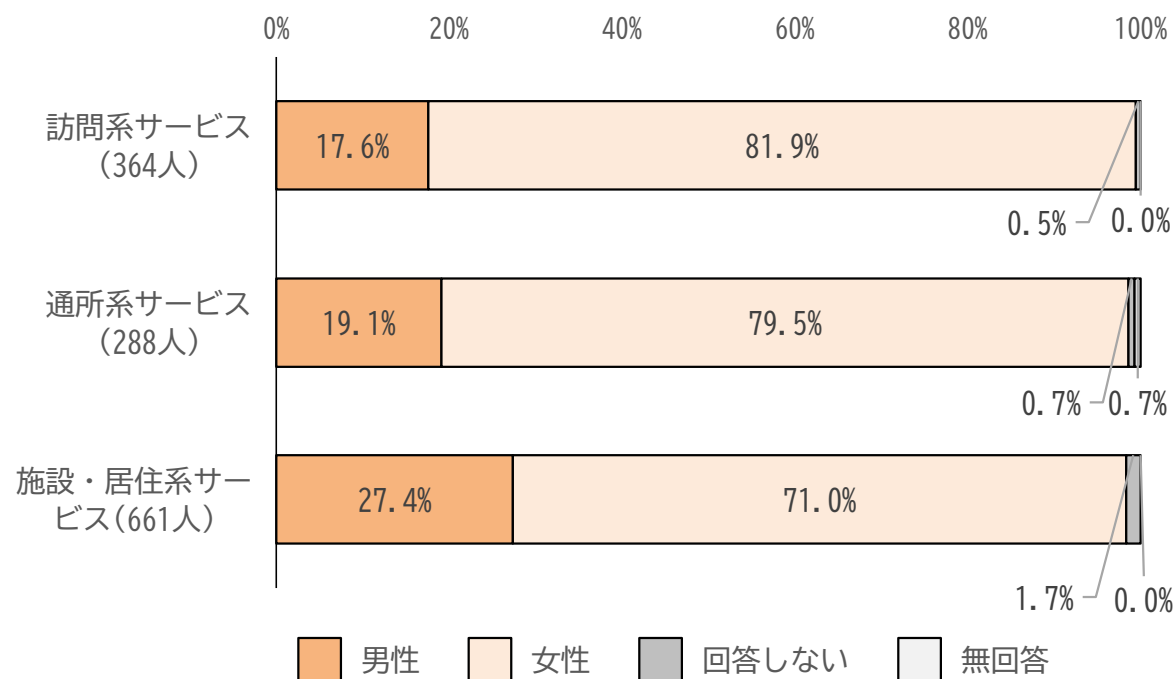
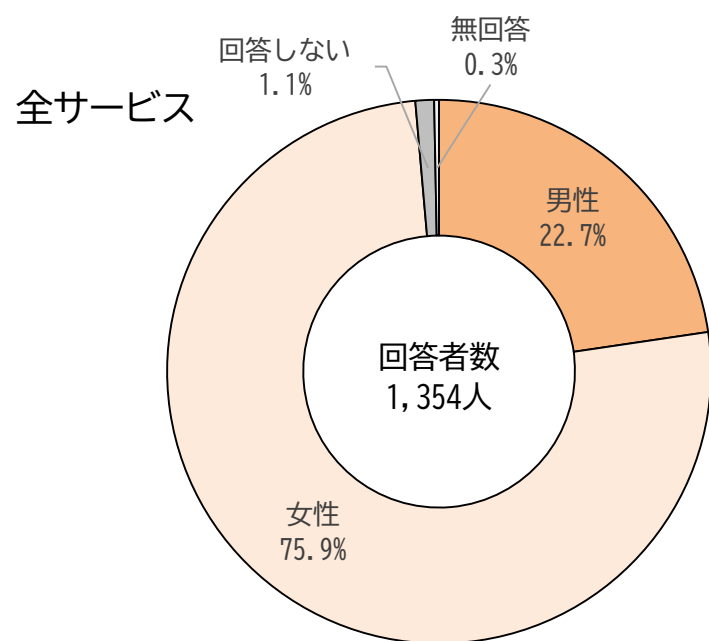
※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

4. 雇用形態



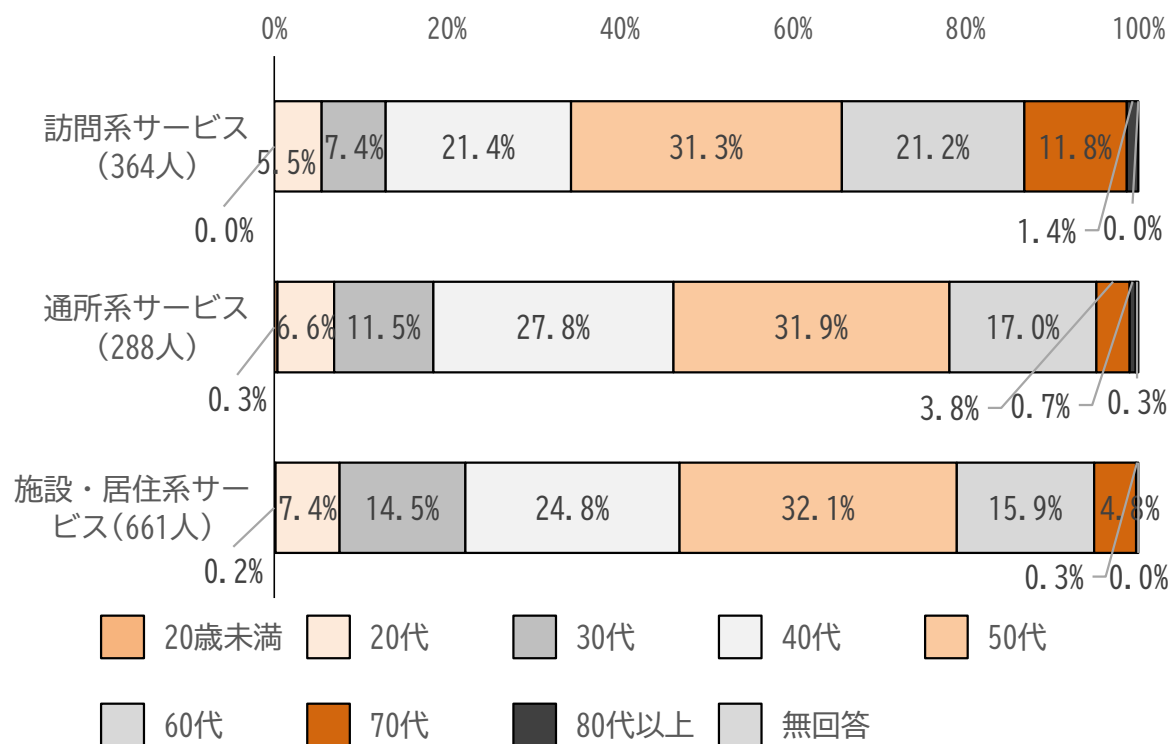
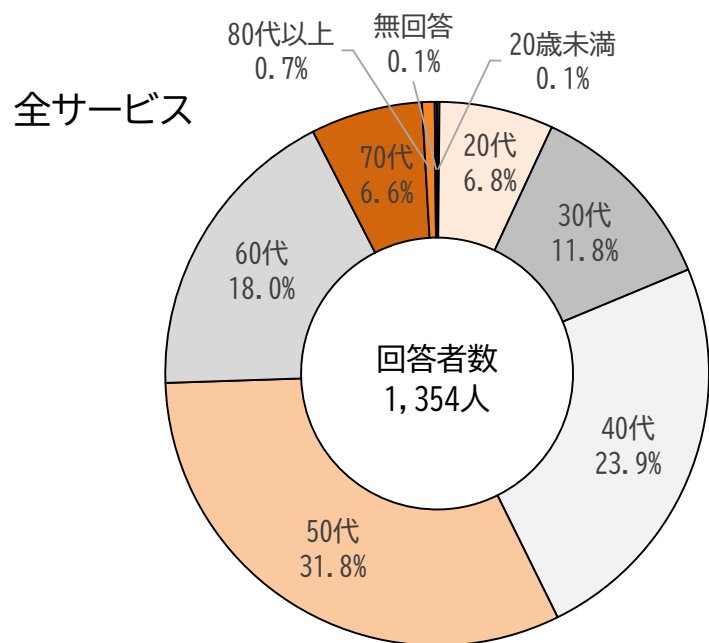
※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

5. 性別



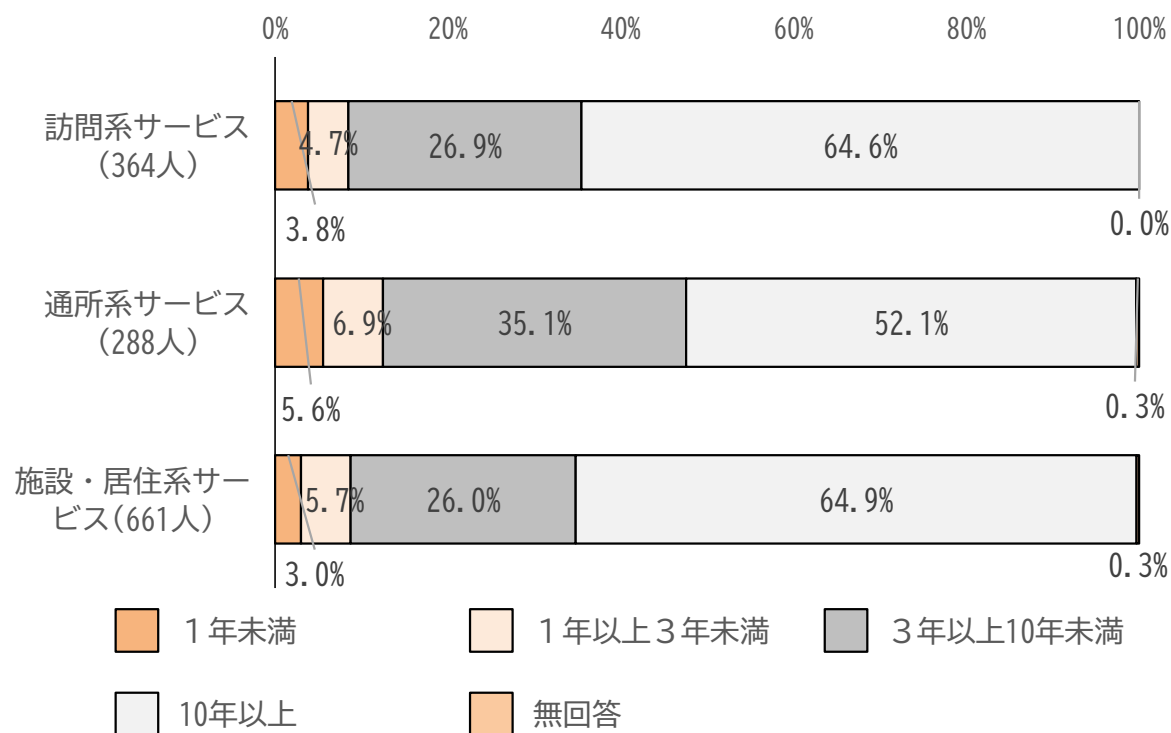
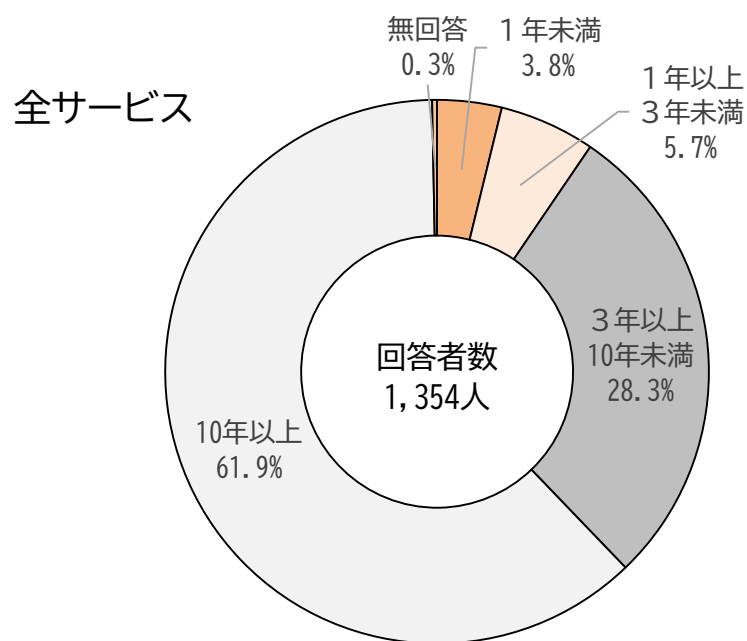
※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

6. 年齢



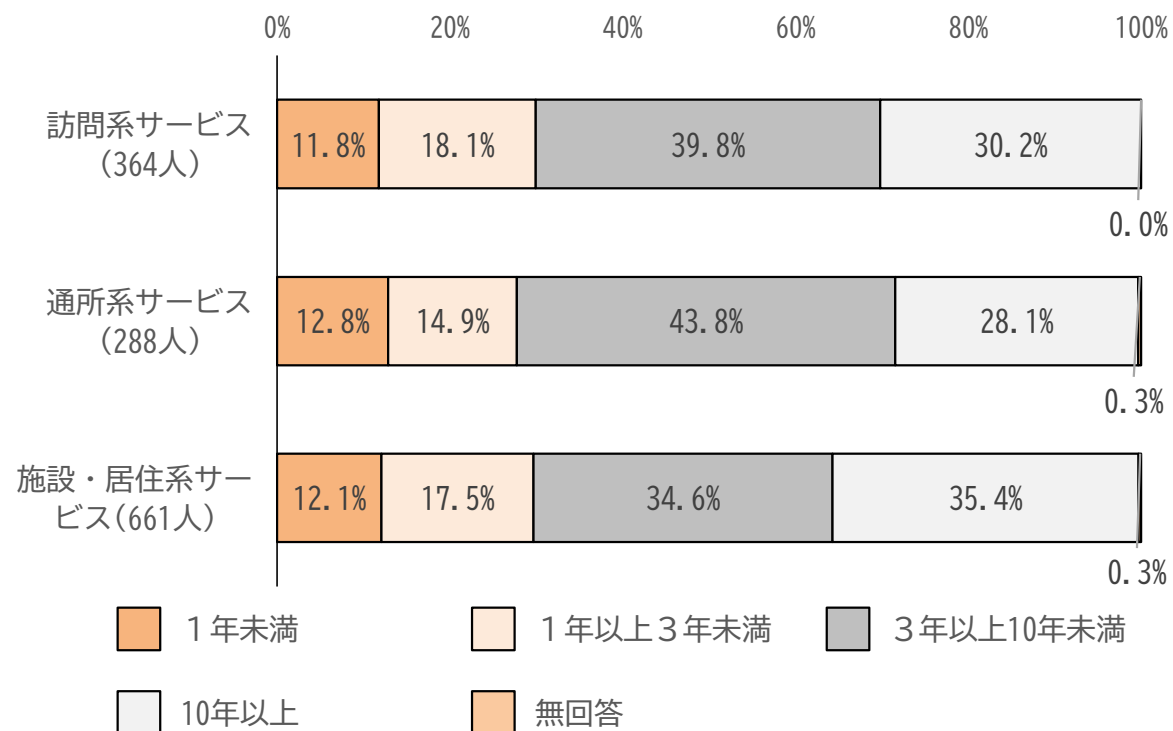
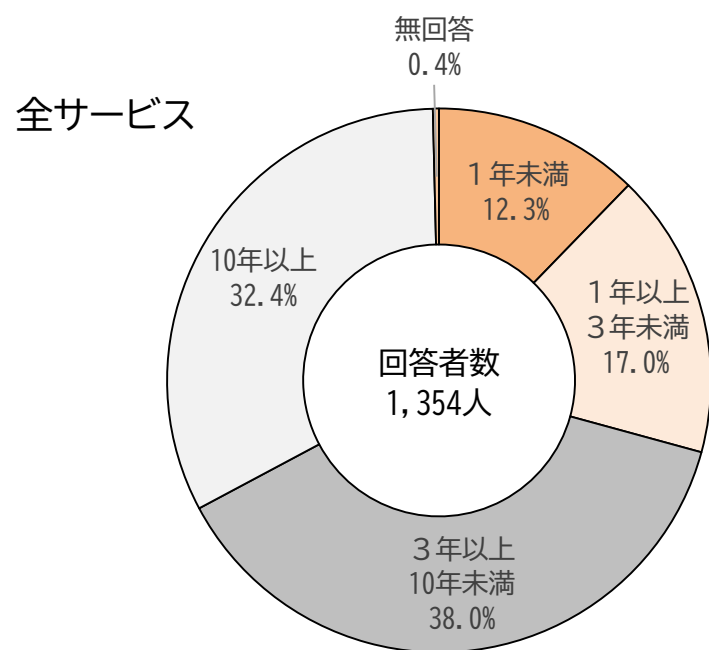
※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

7. 介護職員として働いている通算年数



※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

8. 現在の職場での勤務年数



※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

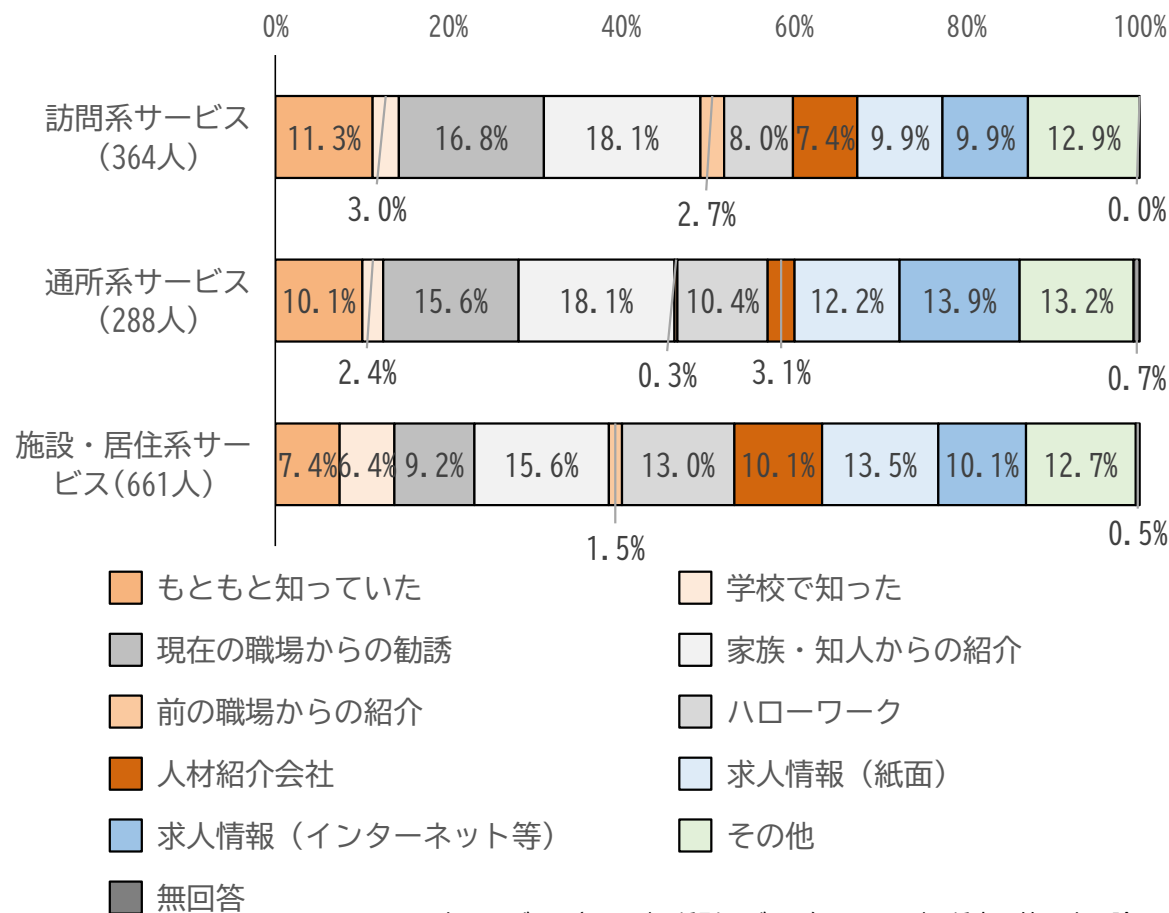
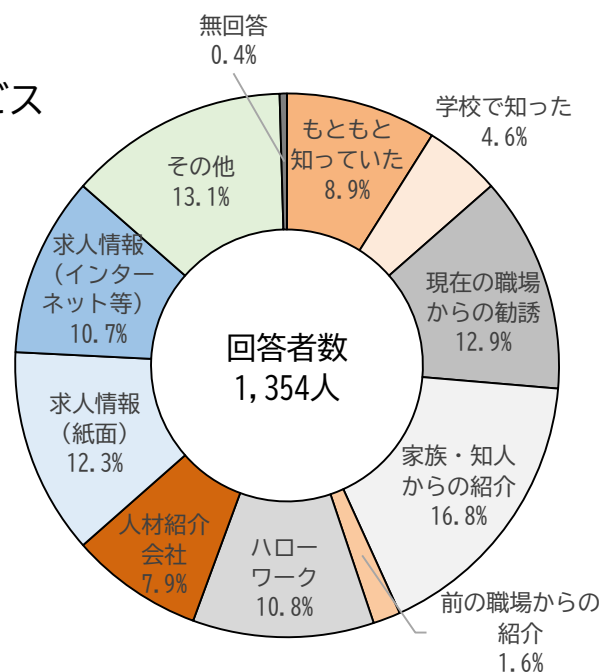
9. 介護職員として働くなかで、 不満に感じていること（複数回答可）

	全サービス (1,354人)	訪問系 サービス (364人)	通所系 サービス (288人)	施設・居住系 サービス (661人)
勤務時間が長い	 13.9%	 7.1%	 15.6%	 16.6%
休暇が取りにくい	 31.9%	 33.2%	 29.5%	 32.8%
仕事がきつい（身体的・精神的）	 34.6%	 20.1%	 24.7%	 47.0%
賃金が低い（業務量と見合わない）	 66.0%	 59.1%	 61.5%	 72.5%
キャリアアップの機会が不十分	 11.7%	 11.3%	 9.4%	 13.5%
社会的評価が低いと感じる	 37.2%	 36.8%	 26.7%	 42.2%
職場の人間関係	 20.7%	 17.3%	 17.4%	 24.1%
利用者やその家族との人間関係	 11.9%	 8.5%	 8.0%	 15.7%
身内のケア（介護・看護・育児等）との両立が難しい	 10.4%	 8.2%	 8.7%	 12.7%
その他	 6.6%	 5.2%	 6.6%	 7.3%
特になし	 13.7%	 18.1%	 16.3%	 9.4%
無回答	 0.4%	 0.8%	 0.3%	 0.0%

※サービス種別のグラフは、サービス種未回答の人は除いていますので、
回答者数の合計は全サービスの回答者数とは一致しません

10. 現在の事業所に入職したきっかけ

全サービス



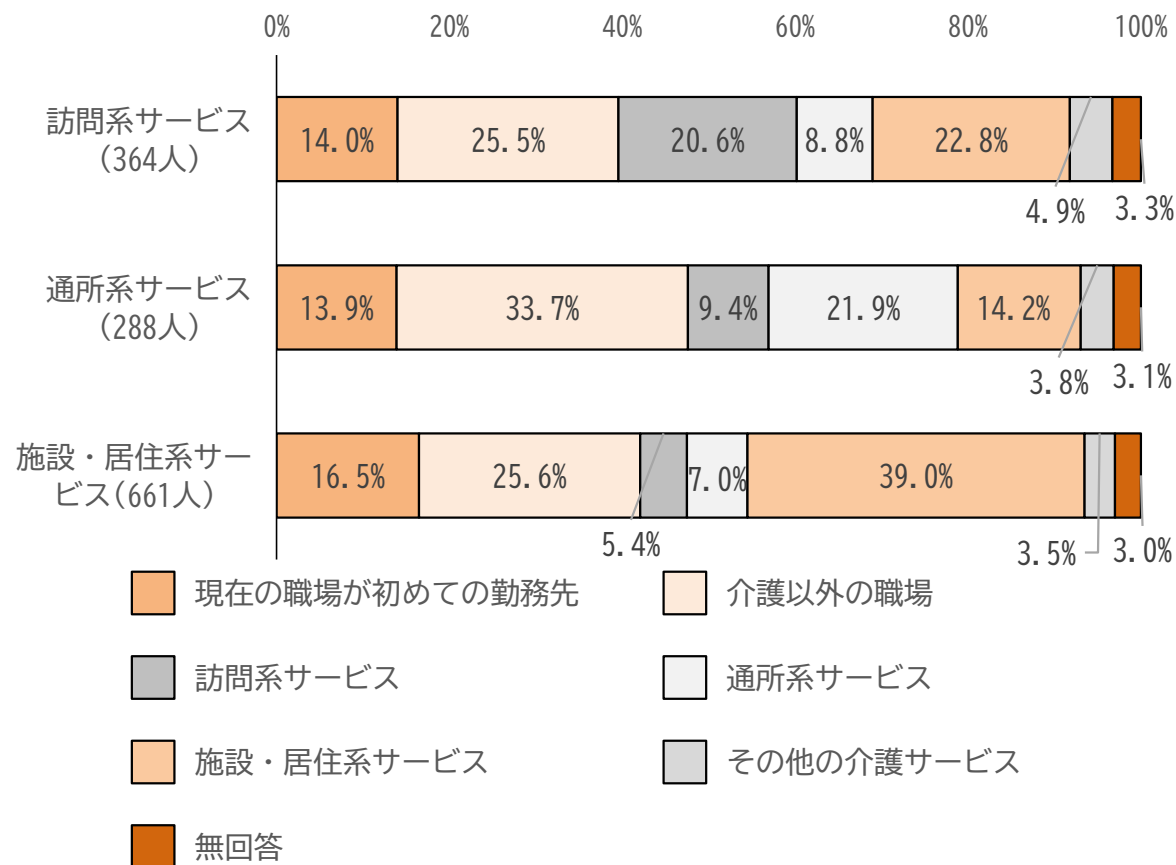
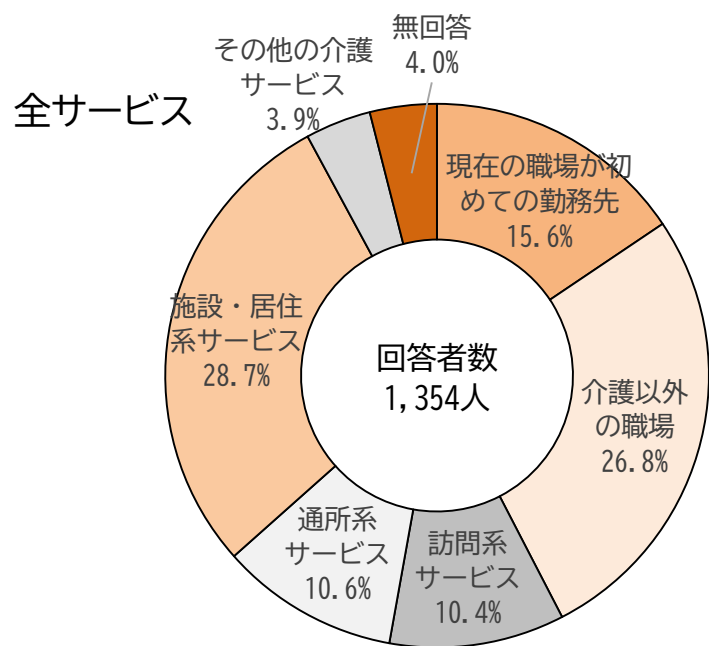
※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

11. 現在の勤務先を選んだ理由 (複数回答可)

	全サービス (1,354人)	訪問系 サービス (364人)	通所系 サービス (288人)	施設・居住系 サービス (661人)
賃金が比較的高かったから	 9.3%	 8.2%	 5.6%	 11.6%
自分や家族の都合が良い時間（日）に働けるから	 21.9%	 28.3%	 29.2%	 15.7%
通勤の便が良かったから	 47.3%	 41.2%	 49.3%	 50.1%
夜間勤務がないから	 8.4%	 11.5%	 19.8%	 2.1%
人間関係が良好そうだから	 8.8%	 11.8%	 8.3%	 7.1%
やりたい職種・仕事内容だったから	 22.1%	 26.6%	 22.6%	 19.4%
能力や資格が活かせるから	 13.7%	 17.6%	 14.9%	 11.0%
正規職員として働けるから	 18.7%	 16.8%	 13.2%	 22.5%
教育研修や資格取得支援等が充実しているから	 2.4%	 3.0%	 1.0%	 2.4%
その他	 14.0%	 12.9%	 14.9%	 14.1%
特に理由はない	 6.9%	 6.6%	 4.9%	 8.0%
無回答	 0.4%	 0.0%	 1.0%	 0.3%

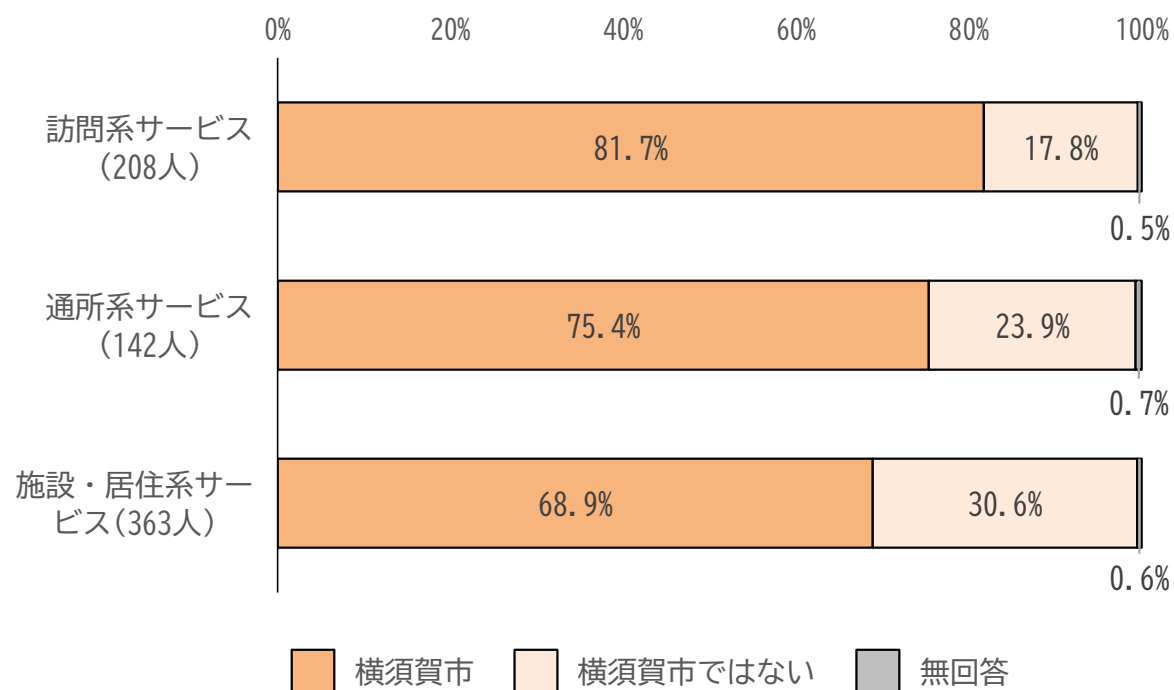
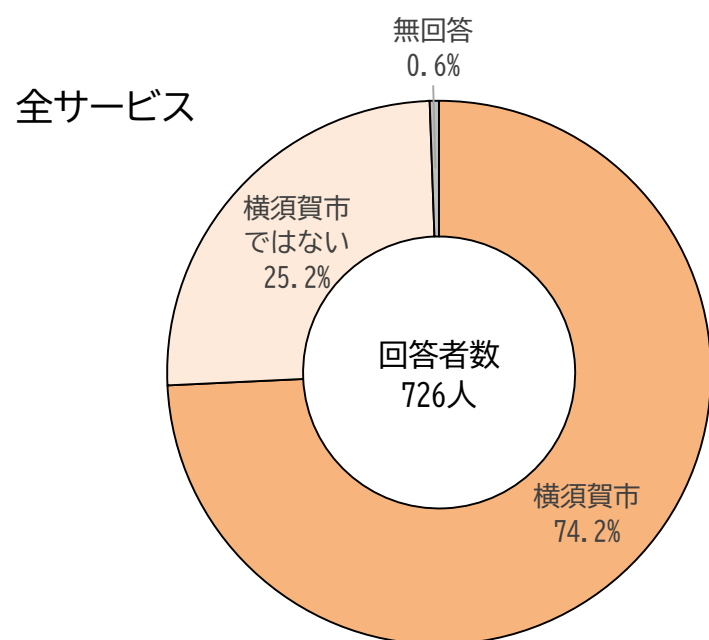
※サービス種別のグラフは、サービス種未回答の人は除いていますので、
回答者数の合計は全サービスの回答者数とは一致しません

12. 現在の事業所に勤務する直前の職場



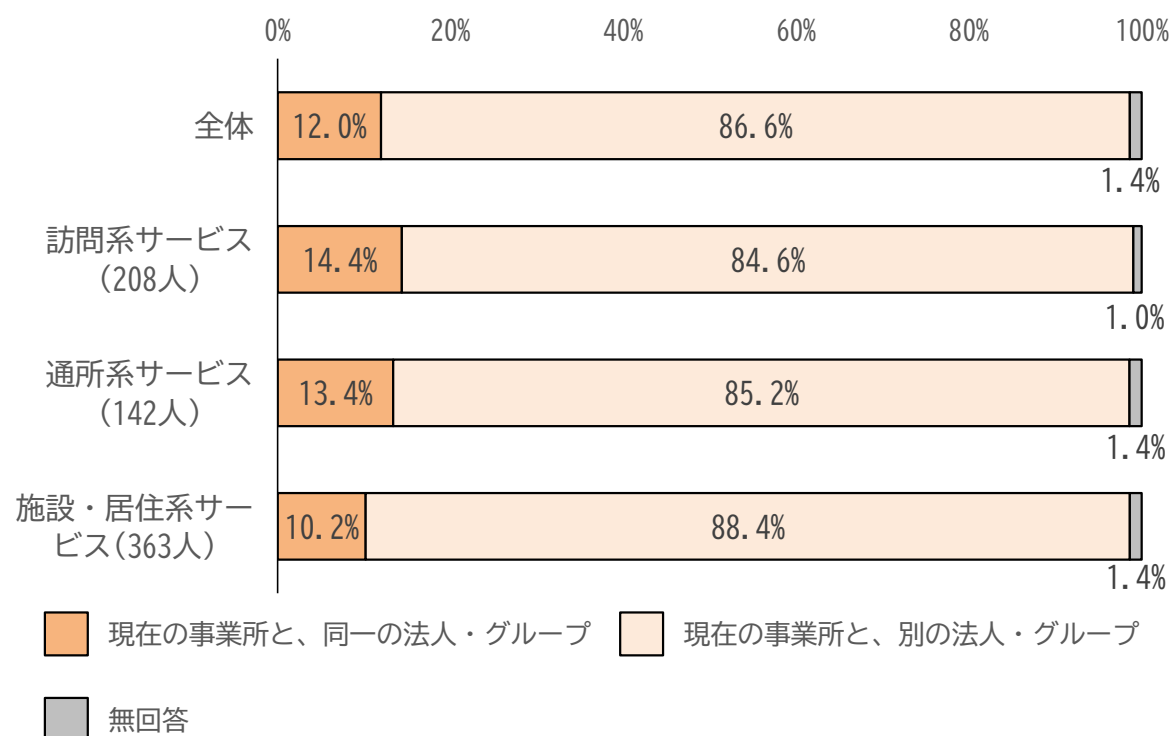
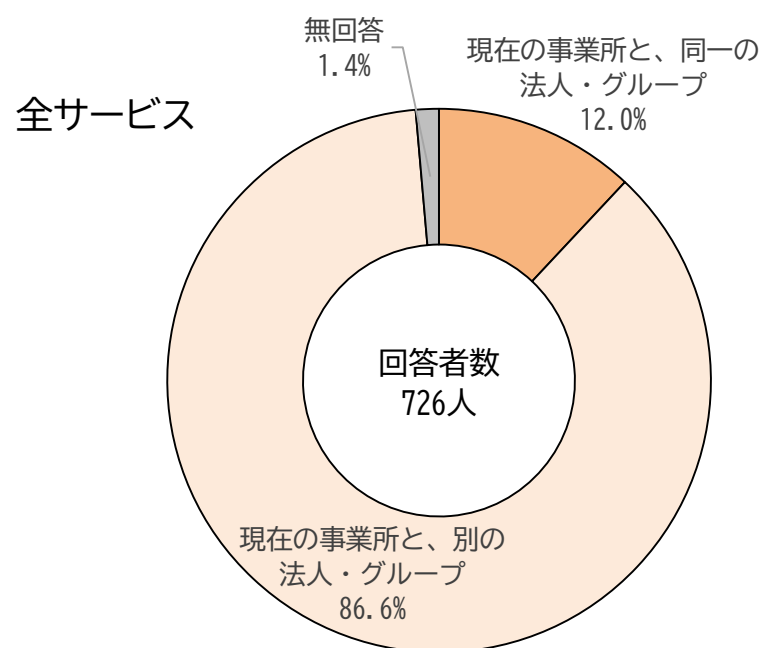
※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

13. 現在の事業所に勤務する 直前の職場の所在地



※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

14. 現在の事業所に勤務する 直前の職場の法人・グループ



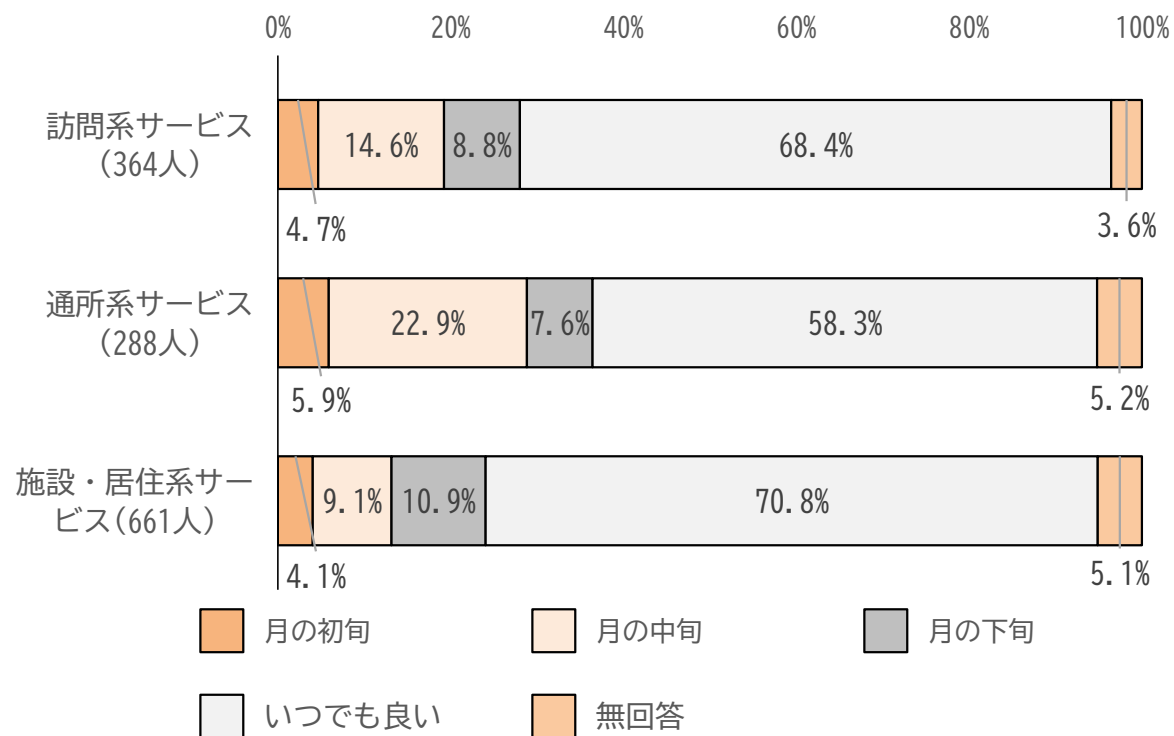
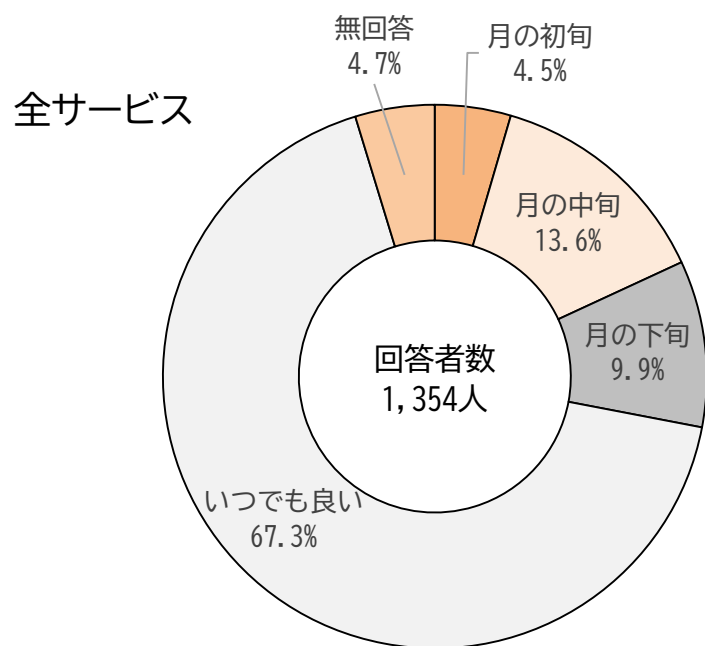
※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

15.今後どのような研修を受けたいか (複数回答可)

	全サービス (1,354人)	訪問系 サービス (364人)	通所系 サービス (288人)	施設・居住系 サービス (661人)
介護に関するノウハウやスキル向上のための研修	45.3%	46.4%	44.4%	46.4%
マネジメントの知識・スキルを身につける研修	20.4%	19.5%	22.9%	20.1%
ＯＪＴ（事業場内での指導力養成）研修	13.1%	12.4%	10.4%	14.7%
コミュニケーションスキルの研修	23.0%	23.1%	23.6%	22.2%
ハラスメント防止に関する研修	14.2%	10.4%	13.5%	16.8%
リスク管理に関する研修	17.8%	17.3%	16.3%	19.1%
ストレスケア（ストレスマネジメント）に関する研修	26.9%	23.4%	25.0%	30.3%
特にない	28.7%	26.4%	30.2%	29.3%
無回答	0.4%	0.3%	0.3%	0.5%

※サービス種別のグラフは、サービス種未回答の人は除いていますので、
回答者数の合計は全サービスの回答者数とは一致しません

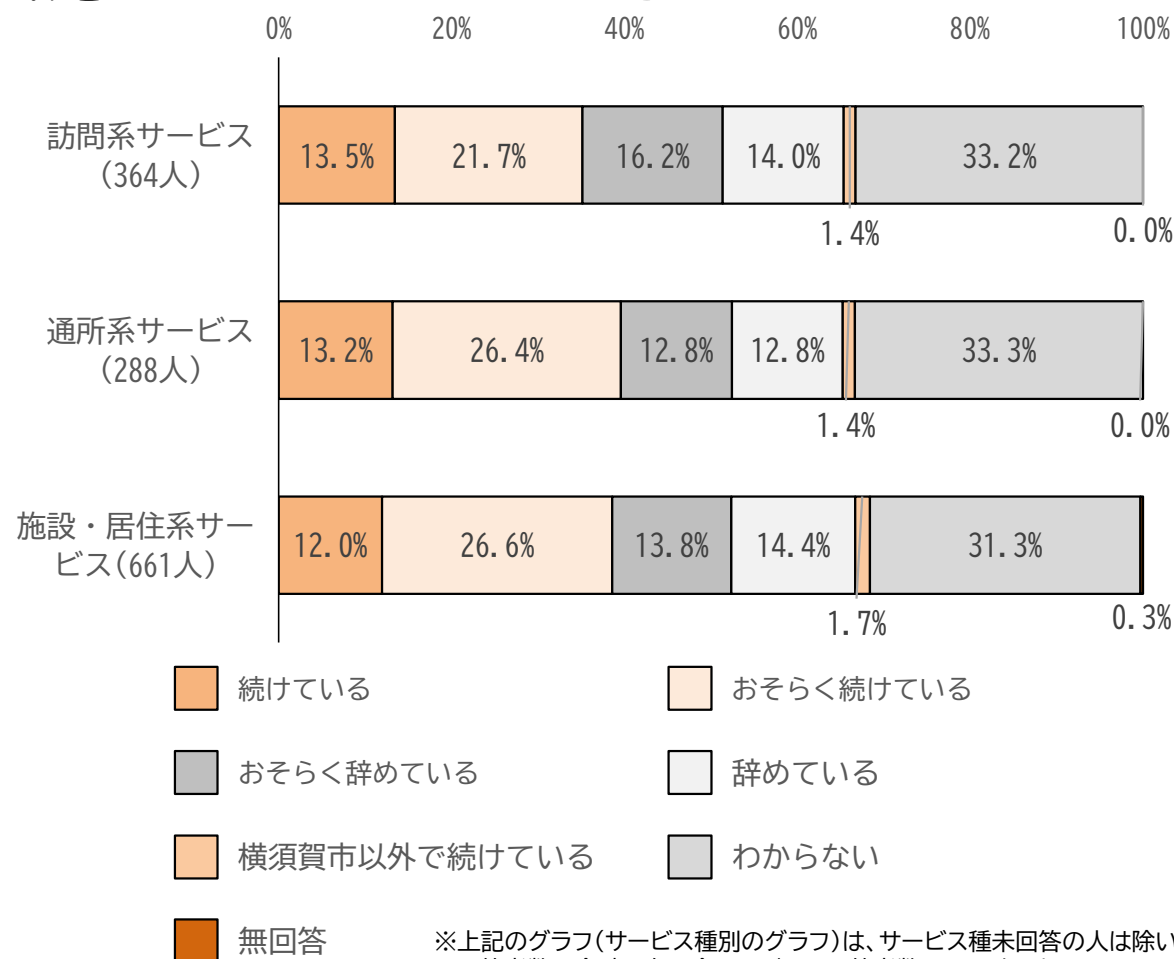
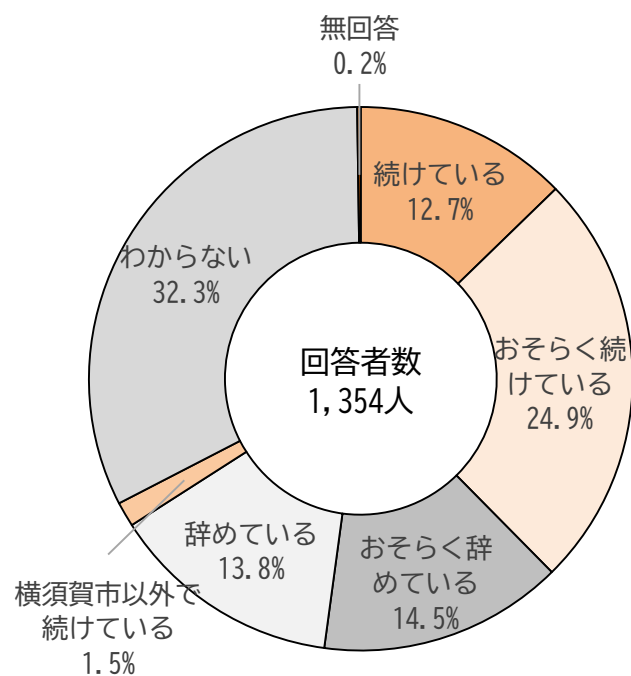
16.研修を受けるなら、受けやすい日程は



※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません

17.10年後横須賀市で 現在の仕事を続けていると思うか

全+



※上記のグラフ(サービス種別のグラフ)は、サービス種未回答の人は除いていますので、回答者数の合計は左の全サービスの回答者数とは一致しません